

## 侵入防止柵を次世代に引き渡すために ～獣害に強い集落づくり加速化事業 第 1 回集中講座～

獣害侵入防止柵の維持管理をメインテーマとして、11月21日(金)、南部合同庁舎で獣害に強い集落づくり加速化事業の一環として集中講座を開催し、管内の15集落から29名が受講されました。当該講座は集落内のリーダーを育成する目的で、全3回の開催を予定しています。

大津・南部管内では、侵入防止柵の設置や捕獲の取組等、農作物被害防止対策が実施された結果、野生鳥獣による被害額は減少の傾向にあります。今後もこの状況を維持していくためには、集落や地域で被害対策を継続できる仕組みづくりが重要です。

今回は、自治会ぐるみの柵の管理や地元猟友会との協力で有害捕獲に取り組む新免集落と、自治会ぐるみで柵を設置、維持管理により遊休農地を活用した取組が開始された大石龍門集落の各リーダーから事例を報告いただきました。

併せて、管内で被害が増加している、中型獣(アライグマ、ハクビシン)についても取り上げ、簡易防護柵による被害対策について紹介しました。

侵入防止柵の設置により被害が減少し、集落の関心が薄れることについて、危機として感じていただくとともに、集落の関心を薄れさせないためにも自治会等とともに集落ぐるみで被害を考える必要があると認識していただくことができました。

残る2回の講座では、参加者の関心が高かった捕獲についても取り上げる予定です。



事例報告  
設置した柵を自治会員で1回/週のパトロール&補修に取り組む



中型獣の簡易防護柵の設置実演・紹介  
楽楽くんの設置コストは300円/m